

第30回JA島根県大会議案の全体構成

JAグループ島根をめぐる情勢

1. 経済・社会情勢

- (1) 世界的な景気悪化
- (2) 雇用情勢の悪化と個人消費の低迷
- (3) 中山間地域を中心とした少子高齢化

2. 農業・JAを取り巻く情勢

- (1) 農業従事者の減少と高齢化
- (2) 離農・耕作放棄地の増加傾向
- (3) 予断を許さないWTO農業交渉
- (4) 新たな農業政策への対応
- (5) 成人県民の3分の1以上が組合員
- (6) 県内JAの事業総利益の減少
- (7) 組織整備の協議・検討

第29回JA島根県大会
決議事項の中間総括

JAグループ島根がめざす基本方

多様な農業の重要性と地域経済・地域社会における農業の役割を認識し、農業と地域社会を基盤とするJAグループ島根は、「島根の未来を拓く新たな協同の創造」をめざし、4つの柱を掲げ取り組みをすすめます。

- (1) 農畜産物の生産振興と多様な担い手の育成・支援を機軸とした活力ある島根農業の実現
- (2) JAの総合性を発揮した協同組合らしい地域貢献活動の展開
- (3) 将来への発展にむけたJAグループ島根の強靱な組織・経営基盤の確立
- (4) JAグループ島根の永続的発展をめざす組織整備

情勢・成果・反省をふまへ

JAグループ島根がめざす基本方向の実現への取り組み

1. 農畜産物の生産振興と多様な担い手の育成・支援を機軸とした活力ある島根農業の実現

- (1) 島根の農畜産物の生産拡大に向けた取り組みの実践(ものづくり)
- (2) 多様な担い手の育成と支援の強化による農業基盤の再構築(ひとづくり)
- (3) 「ものづくり」と「ひとづくり」のための体制整備(しくみづくり)
- (4) 島根農業の維持・発展に向けた県民理解の醸成
- (5) 地域農業振興と農政諸課題解決に向けた農政運動の展開

2. JAの総合性を発揮した協同組合らしい地域貢献活動の展開

- (1) JAくらしの活動による組合員・地域住民の総合的な支援
- (2) 「食と農」を基軸とした地域活性化への取り組み
- (3) 「助けあい」を基軸とした地域セーフティネット機能の発揮
- (4) 地域コミュニティ活性化への取り組み

3. 将来への発展にむけたJAグループ島根の強靱な組織・経営基盤の確立

- (1) 組合員加入促進対策と組合員との結びつきの強化
- (2) 将来への発展をめざしたJAグループ島根の経営戦略
- (3) 人づくり戦略の構築と実践
- (4) 経営事業における担い手への対応力強化と事業・サービス機能の向上
- (5) 農業とくらしに貢献し、選ばれ、成長し続けるJAバンクの実現
- (6) 共済事業における組合員・利用者との100%コミュニケーションの実現
- (7) 健康づくり活動の推進と満足度の高い保健サービスの提供
- (8) 情報システムの整備と有効活用

4. JAグループ島根の永続的発展をめざす組織整備